

# 2023 年春学期語学留学/ワイカト大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業内容は担当の先生によっても異なりますが、基本的には 4.5 人が一つのテーブルに座り、教科書に沿って授業を行っていました。ペアワークやグループワーク、英語を使ったアクティビティやKahootのようなゲームも多かったです。月曜日から木曜日までは 9 時から 15 時までの授業で、金曜日だけ 9 時から 12 時の午前授業でした。

班での活動が多かった。班で意見を出し合ったり、議論することが多かった。先生にもよるが教科書は週に一回くらいでそれほど使わなかった。

主にリスニングとスピーキングをしていた。

授業はスピーキングがメインで教科書を用いた文法よりもたくさん学習した。発音の基礎やボキャブラリーを伸ばすゲームなどをたくさんした。

最初の 2 ヶ月弱は、主にゲーム形式でスピーキング、会話力を学びました。リラックスを聞いてその中の表現や、よりネイティブに近い言い回しを習いました。最後の 1 ヶ月での授業は、動画、リリックス、6minutes speaking というリスニング力を伸ばしながらボキャブラリーを増やす形式で学習しました。

テキスト、歌の歌詞、YouTube のニュージーランドに関する旅行動画、速読、朝の短めのスピーチなど様々な角度から英語を学んだ。それらからたくさんの単語を吸収できた。また、グループでのチャットの時間を沢山とって英語で楽しく会話をした。

クラスによって違いますが、私のクラスは英語でのコミュニケーションがメインでほとんど毎日ディスカッションしながら教科書を進めたり、週に一回か二回は題をクラスで決めてそれに対する自分の意見を準備し、それをその日の班で意見交換したり、ディスカッションをしたりしていました。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

ジェネラルイングリッシュのクラスは 2 つに分かれていて、1 クラスは 20 人ほどでした。サウジアラビア・中国・タイ・台湾からの留学生が数人いましたが、クラスのほとんどが日本人でした。

一回目のクラスは日本人 17 人、中国人 1 人、アラビア人 2 人 / 二回目のクラスは日本人 10 人、中国人 1 人、アラビア人 1 人 / 三回目のクラスは日本人 8 人、中国人 2 人、タイ人 1 人 / ほとんどが日本人だった

日本人が 90%。中国、サウジアラビア、タイの方がいました。

クラスの人数は変動的で少ない時で十数人、1 番多い時で二十人ほどいた。ほとんどが日本人で中国人とサウジアラビア人の学生が合わせて数人いた

クラスの人数は多い時は 20 人、少ない時は 11 人という比較的少数の教室で同じクラスになるのはほとんどが日本人です。1 クラスに 1 人か 2 人外国人がいました。

最初は全員日本人だった。後々、タイから、中国から 1 人ずつ来て、最後の週にまた日本人が増えた。9 割日本人。減ったり増えたりして、4 人の時もあれば 20 人以上の時もあった。

クラスの半分以上は日本人で、三か月の間でクラスのメンバーが変わることがあったので正確な人数はわかりませんが 20 人いるかないくらいで、日本人以外の留学生は、中国人が一人、サウジアラビア人が一人、台湾人が一人でした。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

先生は、授業中には質問や分からないことがないか、みんなによく声掛けをしてくれたり、授業後にはホームステイや放課後・週末の様子などを気にかけてくれたり、留学で困っていることがないか尋ねてくれたり、とても優しくて、相談もしやすい方でした。学生もみんな優しく、グループワークの時は協力し助け合ったり、意見を言い合ったり、クラスの雰囲気はとても良かったです。

日本の授業と違うところは授業中に積極的に英語で話すこと

勉強用共用スペースが多かった。話しやすい雰囲気でした。

すごくゆったりとしていてわからないところは丁寧に解決してくれた。日本で受けていたネイティブの先生の授業と似ていた。

日本のように静かな授業というより、先生が喋ったことに対してわからないことがあればその都度手を挙げて質問していました。もちろん説明の中でタイミングを見ながらですが比較的積極的な人が多く、内容の濃い、良い意味でうるさい教室でした。

明るく楽しい雰囲気。積極性があり、発言しやすい。

自発的に質問や意見を投げかけないといけない雰囲気でした。ですが授業中は質問や意見を言いやすい雰囲気であったため日本よりも積極的に授業に参加できました。そして何よりも先生がよく見てくれていたので授業に追いつけないなどはありませんでした。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

ニュージーランドとマオリについてのトピックです。ニュージーランドのスラング、マオリの言語や文化も教えてもらうことができ、英語という言語だけでなく、ニュージーランドという国自体のことも学ぶことができ、とても勉強になりました。

ニュージーランドにいる動植物について

マオリ文化が印象的でした。

ニュージーランドに行ったので先生がニュージーランドの文化をピックアップしてくださったハカなど、マオリの文化を学習できたのが印象に残っている。

会話の練習の際、自分で意見を書いてその理由を述べた文章を基に個々に意見を言い合うという内容で、ライティングもチェックしてもらえるので、文法の向上にもなりますし、意見を述べていく中で用意してない事を伝えたい時に即座に文を作るスピーキング力も養われました。大変だった分、そのおかげで喋ることへの苦手意識がなくなったので印象的でした。

### 授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

知らない単語が出てきた時には、すぐにその単語をノートに書き留めて、その単語の意味を日本語だけでなく、英語でも書くようにしていました。分からないことは、そのままにするのではなく、先生に積極的に質問していました。家で宿題をしている時に、分からない箇所があった時にも、ホストファミリーに質問して、理解を深めようと努力していました。

日本人がほとんどだったけれど、英語で会話することを努力した。また先生の言っていることを英語でメモを取るように工夫した。

わからない単語をすぐ調べていた。

ノートの後ろから知らなかった単語をメモしていつでも見返せるようにしていた。

全て英語でされる分、理解できない箇所が出てくるのでそこはその都度質問して、授業後により細かく教わることと、教わった事を身近ですぐに使うことです。一度理解したからといって放置していると結局今までと同じように忘れてしまうと思い、身近に起きた事象で例文を作ったり、日記を書いていた。

とにかく何事も積極的に！よく聞いてよく発言する！

わからない単語が出てきたときは英和辞典でまず調べずに、英英辞典で調べていました。そしてわからないことがあれば必ず休み時間や授業終わりに聞きに行ったりしていました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		バス	75-90分
0人		バス	15-30分
0人		バス	30-45分
0人		バス	45-60分
0人		バス	45-60分
0人		バス	30-45分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、クローゼット、ハンガー、勉強机、椅子、ライト、サイドテーブル、全身鏡	歯ブラシ、歯磨き粉、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗濯ネット、消臭スプレー、コロコロ、爪切り、綿棒、変換プラグ、折り畳み傘、スリッパ
勉強机、いす三つ、クローゼット、ドレッサー、ベッド、枕元のあかり、勉強机のあかり、小さなタンス、ゴミ箱、湯たんぽ、ハンガー	箱ティッシュ、時計、S字フック
ベッド、クローゼット、布団、枕、タンス、ドライヤー、ライト、椅子、ぬいぐるみ	ハンガー、生活用品
ベッド、机、クローゼット、タンス、バスタオル	シャンプーやリンス、石鹸などのお風呂用品
ベッド、クローゼット、机、椅子、ミニライト、本、本棚、タオル、ブランケット	ヘアアイロン、洗面用具、生理用品、衣服、勉強道具、お菓子
ベッド、ライト、棚、机、椅子、クローゼット、ドライヤー等生活に必要なものは全てあった。	ティッシュ、消臭スプレー
ベッド、机、椅子、クローゼット、ヒーター、文房具、ドライヤー、鏡、寒かった時用の毛布、ハンガー、部屋を出これーションしてくれた時の手作りのガーランド	自分の生活用品(服など)

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
ニュージーランドでは夕食の時間と就寝時間が日本と比べてとても早かったので、シャワーとドライヤーは夜10時までには済ませるようにしていました。お風呂はシャワーだけで、シャワーの時間制限はなかったのですが、15分ほどで終わらせるようにしていました。
網戸がないのに一日中窓を開けること、洗濯を一週間に一回しかしないこと、食洗器を一回で使わないこと、はだしで外に出ること、シャワーの時間が5分なこと、寝る時間が早いこと、部屋にクーラーや暖房がないこと、洗濯が週一回だったこと。
シャワールームしかなく、座ってシャワーができなかったこと。ご飯がほぼ毎日ワンプレートだったこと。
英語圏内で今日はどうだったかを質問することは大切だということ、発音がJapanese Englishだと聞き取れない。シャワーが狭い、毎日洗濯物ができない、毎日シャワーを浴びない、公共交通機関が不便、
洗濯の頻度が少なく、乾燥機が無いので、たまに間に合わない時が来て困った。テレビや音楽の音量が音割れするくらい大きいので慣れるまで耳が痛かった。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

Good morning や Good night などの挨拶を明るく大きな声で言うこと。こうしてほしいと思っていることや困っていることがあれば抱え込まずに伝えること。Yes と No をはっきり言うこと。ハウスルールに従うこと。自分の部屋にひきこもるのではなく、できるだけリビングにいて、ホストファミリーとコミュニケーションを取ること。

早い段階で自分の嫌いな食べ物を伝えること、ちょっとの虫は気にしないこと、

違いを受け入れること。

家のルールで疑問に思ったことがあればすぐに聞くこと。後になればなるほど聞くのが難しくなった。

1 日の出来事が必ず聞かれるので家に帰る前に言いたい事をまとめておく。事前にメールをして、持ち物をできるだけ減らすために家にある何を使っているのか聞いておく。(ドライヤーやタオル必要な家とそうでない場合がある)相手は私たちが未熟なのを知っているので恥ずかしがる必要はないし、逆にたくさん質問して日々の会話を大切にする。

わがままはもちろんダメだが、遠慮はしない方が良い。

私のおうちは小学生の子が二人、中学生の子が一人居たので家族みんなで夜はゲームをしたり、子供たちが寝た後はホストペアレンツと三人でカードゲームをしたり、下の階に女の人が住んでいたのと一緒にそのゲームをしたりしていました。なので必然的に会話はほかの家庭の人よりも多かったように思います。私は基本的に何かに誘われたら行くようにしていました。もちろんしんどい日などは断ったりしましたが、私自身そういった時間が楽しかったので最初は英語でのルール説明で戸惑いますが最初さえ乗り越えれば、楽しいですし、ホストファミリーともいい関係を築くことができました。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	はい
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
毎週木曜日の放課後に現地の学生と英語で交流するイングリッシュクラブがあり、毎週参加していました。毎週金曜日の放課後には大学のジムを使用できるので、バドミントンやパレー、バスケ、卓球などをしていました。	学内ではコンビニや食堂、キッチンカー、カフェ、図書館をよく利用しました。学校近辺では、日用品を買うために Warehouse と Kmart へよく行っていました。
英語クラブという毎週木曜日にあるボランティアに参加して現地の学生とかわる時間を作る。日本語授業のボランティアに参加して、現地の日本語を勉強している学生の実際の授業に参加して日本語を教えた。	学校内のカフェ、図書館、カウントダウン、センタープレイス、チャートウェル

### 3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
英単語や日常でよく使うフレーズや表現を覚えていました。
基礎的な文法、シャドーイング
オンライン英会話や日々のシャドーイングなど
目的を明確にしておくことと単語量を増やすこと、会話メインの文法書でよりナチュラルな会話を目指して事前に自主学習はしていました。
ホストファミリーがわかってからすぐにメールを送り、LINE をいれてくれたのでほとんど毎日連絡を取った、英語の勉強

留学前にしておけばよかったと思う準備
もう少し英語を勉強して、ポキャブラリーを増やしておくべきだったと思います。そして、もっと自分の国について調べて、知っておくべきだったと思います。
リスニングの練習、英語での言い回しを覚える、単語
もっとスピーキングに慣れていればよかったと感じる。文法や単語など基礎的なことをもっと伸ばしていけばよかった。
もっと勉強しておくべきだったのと、何かテストを受けて、留学後と目に見えて比較できるようにしたら良かったなと感じました。また、英語で日本のある程度大雑把な説明、行く国の歴史、状況、文化調べで行ったら良かったなと感じました。
英語の勉強 もっと話せたらよかったのと思うことがあったから

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
ホストファミリーへのお土産、消臭スプレー、コロコロ、洗濯ネット、生理用品、変換プラグ、ビニール袋、パックご飯やインスタントみそ汁などの日本食
クロックス(旅行時のみ)、ファイル、
服が汚れた時に使うスティック式の洗剤。輪ゴムや洗濯バサミ
日本食は必須でした。お弁当の概念が日本と違うのでランチが足りない人がほとんどで、カップラーメンを大学内のコンビニで買っていましたが、それも量が少ない上あまりおいしくはないので、日本から持ってきて良かったと思います。日本食をお土産にすると人によって嫌いな人もいますので、コースターやコップなど実用的なものの方が良かったと思います。
予備の詰め替え化粧水やコンタクトをたくさん持っていった。文房具やお菓子を持っていったら喜んでくれた。
日本のお菓子、日本を連想させるお土産、スマホも使えるが電子辞書

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
たくさんの服(現地のショッピングモールで購入することができるため)	帽子
洗濯の洗剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、ドライヤー、文法の問題集、参考書、ノート	風邪薬
大量のタオル	ビニール袋(レジ袋)
タオルは使って良かったので、不要でした。	どの頻度で洗濯ができるかわからないので、下着をもう少し多めに持ってくるべきだったと思います。デニムやトップスは一度洗わずに着るのは慣れましたが、下着はやはり洗わずには厳しいかと思いました。
雨用靴、ドライヤー	予備の消しゴム
白米、みそ汁 基本にお家にいると三食、間食すべて出るので食べるタイミングがなく結局無理して食べて持って帰ってきたりしたから	特になし

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
現金とクレジットカードを準備しました。クレジットカードは2つ持っていました。同じ財布にクレジットカードを2枚入れておくのは危ないので、日本から財布を2つ持って行って、1つの財布に1枚ずつクレジットカードを入れていました。	現金は日本円で10万円分用意して行きました。現金が足りなくなったら、現地のATMでお金をおろしました。留学中は基本的にクレジットカードでの支払いが多かったですが、留学期間中に2回参加したツアー費用が現金払いのみだったことや、友達と割り勘をする時に現金をよく使ったことから、現金も多めに準備して、持って行って置いて良かったと思いました。
現金、VISA、キャッシュパスポート	現金5万円分、キャッシュパスポート5万円分×3(後で追加してもらった)
現金とカード	現金5万、カード10万
クレジットカードをメインで使っていた。現金は少しだけ両替していった。VISAなどは外国のATMからでもおろせたので現金が不足した現金は現地のATMでその都度降ろした。	二つの口座に合わせて20万、現金で一万円ほど
クレジットがほとんどでしたが300ドル程度現金に変換しました。	クレジットカード上限20万、現金30000円
現金、クレジットカードと外国からお金を引き下ろせるカード	現金は3万円くらい
クレジットカード二枚、プリペイドカード(メインで使用)、現金(空港で二万円分換金)	プリペイドカード15万、クレジットカード上限30万、現金2万

#### 現地で支払った住居費と食費を教えてください。

食費は5万円ほど

住居費は現地で払うことはなく、食費は友達と外食する時のみ自分で払っていた。

#### テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

授業内で使う教科書は現地の大学から貸し出されるのでテキスト代は無料です。バスでの通学費は3か月で1万円ほど

通学費は学割がきいていて一日1ドル

テキスト代なし、通学費約一万円

通学のバスは片道1ドル(7月は2ドル)

コロナの影響で、学生割りとして7月までは、行き帰り出して1ニュージーランドドルで、7月からは往復2ニュージーランドドルでした。テキスト代はないです。

テキストは学校側が貸してくれた。交通費は1日0.5ドル(学生料金7月から値上がりして1ドルになった)×2(乗り換え)×2(行き帰り)=2ドル(7月からは4ドル)しかし、ホストシスターが車で送ってくれること日もあった。

通学費6月末までは0.5ドルでバスが乗れたので往復1ドルでほとんど毎日乗っていたので大体75ドル、7月からは2ドルになったので全部合わせて大体90ドルいかないくらい

#### その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

日用品や服、お菓子、お土産、ツアー費用、旅行など、20万円程度

700ドルくらい

約30万円、通信費用約2万円

ほとんどが旅行や観光(ツアーと個人合わせて4回ほど遠出した)一回2、3万程度。
服を買ったら1着60NZ\$で、300NZ\$かけて、お土産にも200NZ\$、その他日用品に200NZ\$
5万から10万
・旅費 200ドル ・服 200ドル ・食べ物 300ドル

## 5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
初めの頃はホストファミリーとコミュニケーションを取ることが難しかったり、自分の思っていることや気持ちをなかなか英語で伝えることができなくて、とてももどかしさも感じていましたが、日を重ねるごとに、特にリスニング力とスピーキング力は以前よりもかなり伸びたと思うし、最終的にはホストファミリーとも日常会話はスムーズにできるようになったので、語学力・コミュニケーション能力は留学前と比べると向上したと思います。
コミュニケーション能力は向上したと思う。語学力ははっきり向上したというには厳しいとが、以前に比べると伸びていると思う。また、今後どのように勉強していけばいいかが分かったように感じる。
リスニングが留学前よりも伸びた。コミュニケーション能力も上がった。
スピーキング能力が伸びた実感はあまりないが英語でコミュニケーションをとることへの抵抗は無くなった。
語学力、コミュニケーション能力は絶対的に向上しました。わからないままで放置するのが嫌なので質問するために相手に伝わるように話さなければならぬので自分なりに試行錯誤しながら話したり、現地で友達を作って遊びに行くというやりたいことリストを満たすために積極的に話しかけたことで会話のノウハウを覚えることができました。
語学力、コミュニケーション能力は上がったと思います。

留学前の目標とその達成度
留学前の目標は、外国人とたくさん話すこと、いろんな経験をすること、英語力を向上させることでした。毎週木曜日のイングリッシュクラブで現地の大学生と交流したり、日本以外からの国から来ている留学生と英語で自分の国について会話したり、本当にたくさんの方たちと英語でコミュニケーションを取ることができました。そして、留学の3か月間で、日本ではできないような様々な経験もすることができ、英語力も留学前よりも伸びたと実感しているので、目標は達成できたと思います。
リスニングの向上と英語脳を作る→どちらも達成できていると思うが、まだ足りない部分もある。
目標は英語をペラペラになって帰国することだったが、3ヶ月ではそこまで達成出来なかった。
ホストファミリーと滞りなく話せるようになろうと思っていたけど現地の方の話し方は全体的に早いのでまだ少し難しかった。
留学前の目標は3ヶ月という一般的に長くはないと考えられている期間で英語に関わる全てを吸収することで、85%は達成できたと思います。本当に積極性は誰にも負けない自信があるぐらいには努力しましたが、モチベーションが下がってしまい、意識も集中していたとは言えないので、ある程度はできていましたが、完璧ではなかったです。
英語話者とよりスムーズに会話をする(○)、価値観のアップデート(◎)
自身がなさ過ぎて目標自体を日本から掲げていくことができませんでした。ですがむこうで生活するようになってからはとにかくたくさん話すということだけを考えて生活していました。満足はしていませんが、最初の自信のないころに比べて格段と怖がらずに話すことができるようになったと思います。

留学を通しての成長ポイント
留学を通しての成長ポイントは積極性です。留学前は人前で話すことがとても苦手でしたが、今では以前よりも緊張することがなくなりました。そして、何事にもまずは挑戦してみることに、間違ってもいいから、英語を話してみることに、のような前向きな気持ちや姿勢が身についたと思います。
留学を通して消極的だったのに対し、ボランティア活動を試みたり、英語で話しかけてみたりできるようになり語学面だけでなく人間的にも成長でき

た。
自信が身についた。一人で問題を解決することができるようになった。
自分から話しかける力。わからないことは聞き返すこと。
まず積極性は身につきました。自分の中でしんどくても正しい方を客観的にみて判断し、取り組みました。また、行動力も以前より伸びたと考えていて、限られた物の中からいかに効率良くかつ自分にとってプラスになるように考え、行動しました。この二つは日本ではあまり長所とならなかったのですが今ではアピールできることです。
レベルはどうか分からないけど最初の1,2週間目は緊張しながら話していたが、今では楽しみながら会話できるようになった。母国語が英語では無い国から来た子とも遊びに行ったりと幅広く交友関係を築けた。考え方にも柔軟性が出てきたと思う。

### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前も外大で英語の勉強に励んでいましたが、留学が近づいてくるにつれて、自分の英語力でホームステイでホストファミリーとコミュニケーションが上手に取れるのか、留学先大学での授業についていけるのかといった様々な不安がありました。しかし、留学中は何事にも積極性を大切に、毎日英語に触れ合い、3か月間頑張りました。この留学を通して、もっと英語を話せるようになりたいという気持ちが以前よりも強くなったし、もっとネイティブの方と交流したいと思うようになりました。
留学をしてみて自分の英語力を身にしみて感じることができ、留学前ではわからなかったような英語を'話す'ための勉強を知り、モチベーションの向上につながった。
留学前は学習意欲がなかった。留学中は、積極的に学習していた。留学後は、生活の中に英語を取り入れようとしている。
現地で自分の英語力はまだまだだと感じたので今までよりも勉強の時間を増やさないといけないと感じた。
留学前は、何から始めたらいいかわからずにやっていたものが留学中に明確になったと同時に今までやってきたことは意味のあることなのかと疑心暗鬼になってしまった部分がありました。留学を終えた今が、今自分が勉強すべきもの、伸ばし続けたいといけないところ、方法がわかるので、留学後が一番モチベーションは高いです。
楽しみながら学べたのでモチベーションが下がることはなかった。このまま保ちたい。
悩んでいることを英語で説明した時や、風邪やけがをしたときにきちんと説明することができたり、人見知りもあって人と話すことが得意ではなかったので注文とかも一人でするのが苦手でしたが全部1人でできるようになったのでまだまだですがある程度の英語力は身に付いたと思います。
留学前は上がっていましたが、留学中は周り比べてしまっただけで下がっている時期もありました。留学後はホストファミリーとずっと連絡を取っているので次ぎあう時までにもっと話せたらいいなと思いモチベーションが一番あります。

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

降りるバス停を間違えてしまった時に、もう外が暗く、帰り道が分からなくなってしまい、ホストマザーに初めて電話を掛けたこと。
ホストファミリーとの会話。消極的で自分から他言語で話すことはとても勇気のいることだけど、勇気を振り絞ってちょっとしたことでも話しかけるように心がけた。はじめは緊張したけど、だんだん慣れることができ最終的には緊張せず話せるようになった。
一人で栄えている街に観光に行ったときに全部自分で調べてわからないことは現地の方に聞いたこと
自分が苦しい時や周りに合わせて楽な方に逃げずに、自分の正しいと思う方に意思を貫いたことです。自分の中で様々な問題が重なり、いつもの自分なら耐えられなかったのではないかなと思う場面でもめげずに目標に向かって頑張ったことは自分の誇れることで 100%力を振り絞ったことです。
自分の悩みを先生に英語で説明した時、けがをしてしまったとき、風邪をひいてしんどかったが英語でそれを説明できた時

### 留学先大学の良かった点

とても自然豊かな環境で学ぶことができました。毎週木曜日の放課後のイングリッシュクラブを通して、たくさんの友人ができたので、このクラブに毎週参加して良かったと強く思っています。
---



お店やカフェが充実していた。校内がきれいだった。

電子レンジ, お湯, ウォーターサーバーがあつてとても便利だった。

施設設備がよかった

Local students との交流の場があつたことは良かったです。

自然が豊かでいつでもリフレッシュできる。

先生がみんないい人だった